

奈落

奈落とは舞台と花道の下に位置する空間を指します。仏教用語で地獄を意味する奈落からその名をとりました。これは、地下の暗く薄気味悪い空間が地獄を彷彿させるためです。

奈落では、丸舞台や空井戸、スッポンの昇降機を開閉する、丸舞台を回転させるなど、歌舞伎における様々な機械操作が行われます。現代における他の歌舞伎劇場とは異なり、金丸座ではこれらが全て人力で行われています。

周辺の石壁は深さ 2.5 メートルで、床は土間です。奈落は地下にあるので、楽屋から鳥屋まで観客に見られることなく移動することができます。